

関西学院大学RCCキリスト教講座スタート

人間・社会・世界・「わたし」キリスト教の視点から
4/14～ 4回シリーズ

格差、戦争、暴力、環境、病気、介護、生きがい、死……。科学技術の進歩と豊かさを手に入れたにもかかわらず、なぜ私たちの社会は、そして心はたくさんの問題を抱えているのか。これらの問題を解決する方法は果たしてあるのか。私たちが直面している人間、社会、世界、そして「わたし」に関する問題を、2000年の歴史を持つキリスト教の視点から読み解き、解決の方法を探る。

※一般参加可、申し込み不要、無料

■日程・テーマ

- 第1回 4月14日(木) 人間とはいったい何か
- 第2回 5月12日(木) 社会はどうあるべきか
- 第3回 6月16日(木) 世界に人はどう関わるべきか
- 第4回 7月14日(木) 「わたし」の価値とは何か

■時間:11時10分～12時40分

■場所:西宮上ヶ原キャンパス 関西学院会館1階 翼の間

■講師:加納和寛 (関西学院大学神学部准教授)

■問い合わせ: 関西学院大学キリスト教と文化研究センター
TEL:0798・54・6019

チャペルオルガニスト スプリング・コンサート
パイプオルガン演奏会

関西学院大学の各学部のチャペルでオルガン邦楽を担当している学生オルガニストたちが得意曲を披露する。

関西学院チャペルオルガニストは、各学部のチャペルや、イベント行事で賛美歌の伴奏等をしている。

※一般参加可、申し込み不要、無料

■日時:4月19日(火)、21日(木)
12時50分～13時25分

■場所:西宮上ヶ原キャンパス
ランバス記念礼拝堂



次号 4月18日(月)発行予定

関西王者が東高西低の
学生スカッシュ界で
上位を狙う

スカッシュラケット同好会の太田ありささん(経済学部4年生)は、昨年の関西学生王者だ。関西学生選手権大会、サマーフェスティバル選手権、関西U23選手権大会で優勝し、全日本学生選手権大会ではベスト8。ベスト16入りが自分以外、男女ともに関東勢の中、存在感を見せた。今年はベスト4以上を掲げ、打倒関東に燃える。

スカッシュは、四方を壁に囲まれたコートで、ラケットを用いて球を打ち合う屋内球技。将来はオリンピック種目になる可能性もある人気競技だ。

太田さんは、小学3年生から高校までバドミントンに打ち込んだ。大学では新たな可能性を求め、スカッシュに挑戦。しかし、「バドミントンの型が体に染みついている、まったく思うようにプレーできなかった」と何度も壁にぶつかった。うまくなりたー一心で、練習に明け暮れた。スカッシュができるスポーツクラブにも通い、格上の男性選手を相手に汗を流した。2年生の関西学生選手権で3位に輝くと、さらに上を狙えることを確信。バドミントンで鍛えた素早い動きとボレーを武器に、球を打ち返す技術を基礎から磨き上げた。洞察力と負けん気も強さの秘訣だ。3年生では、全日本選手権に出場し、日本代表クラスの実力を肌で感じた。

「俊敏さは全国でも通用する。基本のフォームや打球の軌道など課題をクリアし、関東勢に勝ちたい」と燃える。

